

学友会がスタートして

会長 初等教育科2年 佐藤 桃華



『革命』というテーマで勢い良くスタートした学友会。様々な活動をしていく中で、多くの方々に支えて頂き、私達の心には常に感謝の二文字でいっぱいです。本当に、ありがとうございます。これからも学友会執行部全員で頑張っていきます。

皆で丸となって、良い革命を起こしましょう。

春忍を終えて

副会長 人間文化学科2年 前田 由貴

「革命」、私たちの今年のテーマ。その第一歩を春忍で踏み出すことができました。それは、先生方、学友、様々な方々の協力によりよい春の革命を起こせました。本当にありがとうございました。これからは学友会執行部と皆様で大きな革命を起こし、最高の学園生活にしていきましょう。

春の忍ヶ丘祭

春の忍ヶ丘祭実行委員長 保育科2年 廣島 一人

データや参考資料がほぼない状態から始まった春忍。春忍長の私は昨年参加ができなかったため経験も資料もないという現実に不安でいっぱい何度か投げ出しそうでした。

けれども、沢山の仲間や先生方に支えられ、無事に終えることができました。周りからは楽しかったと言われ、達成感と共に感動を味わえ、またそれ以上に皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。苦しいこともありました、投げ出さずに頑張ってきたなと思います。来年も皆で協力し、今年以上のものにしてもらいたいです。

就職活動に向けて

近年、全国的に厳選志向が続いており、文部科学省及び厚生労働省発表で、平成24年3月卒業の就職率は、大学93.6%、短期大学89.5%でした。そのような就職氷河期のなか、宮崎学園短期大学は就職率98.3%を達成することができました。この高い就職率を支える要因は、資格職の強み、伝統的な信頼による求人、個別の細やかな就職指導、そして学生の積極的な就職活動によるものです。

厳しい就職戦線を打破するには各自の積極的な就職活動が必要です。就職活動の第一歩は情報の収集で、いかに情報を集め、効率よく活用できるかが成功するポイントです。企業の場合はネットによる登録エントリー、企業説明会への参加などです。保育園等の場合は、実習園等での自主実習・行事参加や自宅近くの保育園等に履歴書を持参しての就職のお願いなどが重要な就職活動です。

就職は受身でなく、今までにない能動的な活動が必要です。「就職したい」気持ちを、実践に繋げていってください。



就職指導課 佐土原 敦

2年生 保護者会のご報告と 1年生 保護者会のご案内

6月2日(土)2年生保護者会が行われました。あいにくの雨模様でしたが、約1/3の96名の参加を得て、全体会、学科会のうち、学級主任との個人面談が行われました。個人面談と平行して、就職指導課・専攻科進学・何でも相談の3つの相談コーナーも設けられ、相談者が訪れました。保護者と本学教育が連携するきっかけになることを願っています。何か気がかりなことがあれば、いつでもご連絡ください。



1年生保護者会は10月20日(土)を予定しています。

平成24年度 オープンキャンパスのご案内

第1回 7月8日(日)・第2回 8月5日(日)・第3回 3月10日(日)

※第1回・第2回は夏季音楽講習会同時開催。

受付 9:30～ 開催 10:00～15:00 第3回は10:00～12:30

内容 コンサート、ミニ講座、展示、個人レッスン、学食体験*の他、入試相談コーナーも開設。JR宮崎駅・南宮崎駅・清武駅から無料送迎バスあり。
*第1回・第2回 実施



本年度のオープンキャンパスの日程が上記のように決まりました。本学を身近に感じ、本学の教育方針や授業内容を正しく理解していただくため、学内を開放し多彩なプログラムを準備しました。高校生をはじめ保護者の方や先生方のご来学をお待ちしています。詳しくはホームページをご覧ください。アドレス <http://www.mwjc.ac.jp>(入試広報部)



宮崎学園短期大学マスコットキャラクター

6

後援会だより

June 2012 Vol. 18



春の忍ヶ丘祭

後援会会長より



御挨拶

宮崎学園短期大学後援会
会長 有田 秀明

本年度、後援会会長を仰せつかりました。一生懸命努めさせていただきますので、宜しくお願いします。

さて、東日本大震災からの復興や長引く不況など、厳しい社会情勢の中で就職活動は、大変厳しいものになっています。しかし、平成23年度も宮崎学園短期大学では、ほぼ100%の就職率と伺っています。これも学生が社会に出るために必要な、専門的な知識の習得やコミュニケーション能力等を養うため、短期大学の「礼節と勤労」の健学の精神に基づいた、先生方のご指導の賜物だと思います。

私たち後援会は、学生の福祉を増進すると共に学園の教育的環境の整備を目的としています。子どもたちのそれぞれの夢が実現できるように、学校と協力して支援していきたいと思っておりますので、会員のみなさまのご協力をお願いします。

学長所感



若者の意気込みを 称え、信じたい

宮崎学園短期大学
学長 山下 忍

去る4月26日の「天声人語」からは、深く胸を打つ言葉をいただきました。

「不可能の反対語は可能ではない。それは、挑戦だ。」黒人初の大リーガー、ジャッキー・ロビンソンの言葉です。「不可能の対義語は挑戦」、登るに不可能と思われた障壁を、爪を立て、血をにじませてよじ登ったジャッキー・ロビンソン、なるほどそうした人ならではの言葉だと思います。

今、本学の学友会が、天空高く掲げているテーマは「革命」です。学友会執行部は、このテーマのもと、全学生と手を取り合って様々な行事、課題に果敢にアタックしていこうとしています。

「挑戦」と「革命」、共に何と誇り高く、潔い言葉であろう。若者には、こうした言葉を声高に口に誇りと潔さがある。本学学友会の挑戦を、私は目下、目を凝らして見つめています。

学科・専攻科の学生に望むこと

保育科

自分を見つめ、自分が自分である事を実感しよう

保育科長 野坂 敬



新緑の輝く5月を迎えました。山の木々や野に咲く花は精一杯自分を主張し、私たちの目を楽しませ、心を和ませてくれています。しかし、この木々たちは何の苦勞もなくその姿を見せているわけではなく、様々な競争や自然の厳しさに耐え、今できる精一杯の自分を表現しているのです。皆さんも、今後、様々な事に悩み、自分の進むべき路を見失いそうになり、「夢」を忘れそうになる事があるかも知れません。そんなとき、

子どもたちの「笑顔」や、何事にも「きらきら輝く」目で精一杯取り組む「姿」を思いだして欲しい。人に係わる仕事は「奥深く」、高い人間性が求められる仕事です。そして、皆さんの一生懸命が認められる仕事です。「鳥のように飛べない、あの虫のように歌えない、でも、私は立って、色んな歌がうたえる。」(金子みすずの詩の要点)。それぞれが違っていることが当たり前である事に自信をもち、「夢」の実現に向けて自分の「輝き」を実感できるスタートの年となることを願います。

専攻科(福祉専攻)

さらなるステップアップを目指して

専攻科主任 花畑 明美

専攻科(福祉専攻)の学生は、「ありがとう」の言葉を大切に人と関わることが大好きな学生たちです。福祉専攻は保育士資格取得後に、1年間で介護福祉士国家資格を取得し、卒業後は高

齢者・障がい者施設、保育園、幼稚園など幅広い分野で活躍できる人材育成を目指しています。さらなるスキルアップを目指し新たな自分を高めるために一緒に学びましょう。

初等科初等教育科

画餅飢えを充てず

初等教育科長 松野 隆



21世紀は「知識基盤社会」の時代であると言われています。つまり、知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す時代であるということです。それを受けて学習指導要領では、このような時代の中で、「確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する生きる力をはぐくむことがますます重要になっている。」と述べています。

さて、冒頭のことわざは、ご存じの通り「絵に描いた餅では、空腹がいやされないように、いくら学習しても本当に体得しているのでなければ何の役にも立たない。」という意味です。

このことは、本学学生便覧「宮崎学園短期大学の教育」において学長自らが述べておられる孔子の言葉「學而不思則罔 思而不學則殆」に通じるものと言えましょう。

学生の皆さん、知・徳・体のバランスある伸長をともに追求めようではありませんか。

音楽科

音楽できることに感謝!

音楽科長 末平 浩康



今年度も音楽科に14名、専攻科に3名の新生が入学してきました。おめでとう!

2年ぶりに男子学生が入学してくれたことは、心強ううれしい限りです。ピアノ専攻5名、声楽専攻2名、管楽器専攻4名(サクソフォン3名、トランペット1名)、音楽療法専攻2名、そして、昨年度より開設したダンス・ミュージカルコースにも1名が入り、様々な音楽ジャンルの学生が、これからの2年間、音楽場面を

彩ってくれるかと思うと、今からわくわくしてきます。

東北大震災から、日本はまだまだ立ち直れていません。勉強したくても、進学したくてもできない人がいることを思えば、私たちは感謝し、頑張らねばなりません。

校歌にもある通り、「集い来て、今日こそ学べ!」真の勉強とは何か?学長がよく口にされる、ただ単に「見る」「考える」「学ぶ」のではなく、「よく見る」「よく考える」「よく学ぶ」ことです。意義ある2年間、専攻科生はまとめの1年間になることを期待します。

専攻科(音楽療法専攻)

—音楽の魅力—

専攻科主任 山下 恵子

“音楽が大好き”という専攻科(音楽療法専攻)の学生たちは、日々多くの事にチャレンジしています。音楽療法を学ぶ中で、最も大切なことは、誰かと音楽で繋がりがいい、嬉しかった、楽しかったという自らの実感です。始めは偶然かもしれませんが、し

かし、経験を重ねる中で偶然ではなく繋がりがあえることを実感できる時が訪れます。この偶然から必然へのプロセスには音楽の魅力がたくさん存在しています。エネルギー溢れる学生たちと一緒に音楽の魅力を探してみたいと思います。

人間文化学科

学科生に望むこと —付加価値への創造—

人間文化学科長 久保 良一



本学科は、2年間の高等教育の中で、①自分の興味や進路に応じて、「学ぶ内容」を選ぶことができる、②多くの資格・検定が取得できる、③一般企業、銀行・保険証券、病院などに正職員として就職できる、という特色を持っています。卒業生は、それぞれのコースの特色を發揮しながら、即戦力としてビジネス社会の第一線で活躍していますが、そのためには、在学中に日々の教育活動の中で、実社会で何が求められているのか、常に研究し実践したからです。例えば、科目「ソーシャルラーニング」においても、3コースの学生が一堂に会し、社会で必要とされる「力」の育成に

余念がありません。そこで、学科生に望むことは、2年間で、日々の講義や体験学習等を通して、また人間関係の中で社会が必要とする「力」を培っていただきたいと思っています。さらに、自分に対しても「自己肯定感」を持って生きてほしい。そうすることが、人間力・教養力・専門力の「力」の育成に繋がると確信します。

日々の学園生活の中で、毎日、学生が笑顔で、しかも元気よく、自分に「付加価値」をつけるために努力している姿を見ると、学科教員も身の引き締まる思いであります。



ソーシャルトレーニング授業

国語国文コース

学生生活の充実を

原田 真理

24年度の国語国文コースは、新入生11名を迎えてスタートしました。2年生は会社説明会に出席するなど、就職活動を本格化させています。国語国文コースでは、他者の考えを正しく理解するとともに、自分の考えや思いをことばにすることが求められます。コミュニケーション力を伸ばし、視野を広げる場でもあります。司書や教員免許状その他の資格も取得できますが、何より己を知り自分を鍛え磨く力を身につけてほしいと思っています。

文化ビジネスコース

文化ビジネスコースの学生に望むこと

塚本 泰造

文化ビジネスコースの学生たちの可能性が、今までよりも、もっと広がりますように。これがコース主任の望むことです。

簿記でも、秘書科目でも、パソコンでも、頑張った報酬がきちんときますように。もっとことばが使って表現できますように。望むことを語ればきりがありません。それでも、短大時代に自分や周りの人々の幸せを目指すようなエネルギーを育ててもらえればと思います。

だんだん硬さが取れて、表情の豊かになった学生が多くなってきました。



医療事務・医療秘書コース

毎年誓うこと

谷口 和子

このコースは、日本医師会認定の医療秘書養成のコースです。

日本医師会認定医療秘書・全国医師会医療秘書学院連絡協議会医療保険請求事務・日医ITレセ操作事務者の資格を在学中に受験し資格を卒業と同時に取得させたいと考えています。そのためには、授業はもちろんのこと、受験対策が必要で、2年生の後期は授業以外の時間を使って個別に受験対策をしています。

過去に実施された問題を解き、理解できていない部分の解説をし、理解させるという対策をとっています。毎年100%合格を目標にして「全員合格」を合い言葉に学生と共に誓い、合格できるよう取り組んでいます。

